

お知らせ

緊急事態宣言に伴う組合員活動の制限についてのご案内

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、組合員活動を休止しています。
感染拡大の状況をみながら、順次、活動を再開していきます。
ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



無料法律相談：13時～ 4/7(水) 秩父生協病院にて(☎23-1300)
※希望の方は電話にてお申込みください。

3月の診療体制のご案内 急きよ変更になる場合があります。【 】内は専門

診療受付時間		月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	内科	山田 昌樹 (院長)	吉野 隆之 *2 毎週 11 時～ もの忘れ外来 「予約制」	吉野 隆之	山田 昌樹 (院長)	山田 昌樹 (院長)	*1 6日:村岡・担当医 13日:吉野・担当医 20日:休診 27日:村岡・担当医 *院長・吉野・村岡 医師は、総合診療 内科医です。
		村岡 雷太	市川 篤 【呼吸器】	村岡 雷太	中林 公正 【腎・リウマチ】	村岡 雷太	
		市川 篤 【呼吸器】 (1日・15日)		野口 周一 【リハビリ】 (3日・17日)	吉野 隆之	市川 篤 【呼吸器】	
(木:小児科) 9:30~12:00	胃カメラ			藤田 映輝		山田 昌樹 (院長)	*2 土曜日の医師体制は輪 番制のため、急遽変更 となる場合があります。 予めご了承ください。
午後(火のみ) 14:30~16:30	小児科				横井 範子		
午後 *3 訪問診療	小児科・ 冷え性外来		横井 範子				
夜間 17:00~18:30	内科	市川 篤	市川 篤			市川 篤	*3 通院が困難な方に対し ては医師が計画的にお 宅へ伺う在宅訪問診療 を実施しています。

※横井医師の漢方による冷え性外来を行なっています。ご希望の方は☎23-1300までお電話ください。

訪問診療も行なっています。 検査結果や薬の名前など用意しておきましょう。

※夜間・休日で受診やご相談がある場合はご連絡下さい。
※検査等できない場合は、他の医療機関に紹介させていただくこともございます。

入院時の差額ベッド代は
いただいております。

お宅までお迎えに伺う個別送迎を行っています。

利用を希望される方は、まずは受付までお電話ください。☎23-1300



なんでも相談窓口
医療、福祉にかかわらず、「困りごと」がありましたら、まずはお気軽に
窓口へご相談下さい。 ※当院は無料低額診療事業を行なっております。

しあわせ

2021年
3月号
No.319

医療生協さいたま
秩父生協病院
〒368-0016 埼玉県秩父市阿保町1-11
☎0494-23-1300

秩父生協病院の理念

地域の人々とともに、利用者中心の安心・安全の
保健・医療・介護サービスを提供します。

インターネットでの情報は 
又は、<http://www.chichibu-ch.or.jp/> です。

訪問看護・訪問介護・ケアプランなど介護のご相談は

- 生協ちちぶケアステーション
秩父市阿保町1-11 ☎0494-22-9902
- 小規模多機能型居宅介護生協花の木ホーム
秩父市上町1-12-11 ☎0494-25-2000
- サテライトながとろ
長瀬町本野上780-1 ☎0494-69-2380

ひろがっています！シトラスリボン

昨年2月のクルーズ船の集団感染から1年以上が経過しましたが、私たちはいまだ新型コロナウイルスとの目に見えないたたかいを強いられています。

この間には、様々な憶測が飛び交い、デマに振り回されたりもりましたが、未知であったウイルスについて、分かってきたことも多くあります。

にもかかわらず、いまだに感染者に対する差別や誹謗中傷が根強く残っていますし、「感染者が出たらしいから、あの道は通らないようにしている」などの根拠の無い行動をとる方もいるようです。

秩父生協病院では、地域の組合員とともに「コロナ差別を無くそう！」という意思表示の1つとしてシトラスリボンプロジェクトに賛同し、とりくみをすすめてきました。

愛媛県の団体が始めた「地域」「家庭」「職場(または学校)」を象徴する3つの輪をかたどったシトラスカラーのリボンをつけ、思いやりの輪を広げて、新型コロナウイルス感染者や医療従事者への差別をなくそう」という呼びかけですが、テレビでも何度もとりあげられるなど、全国的にも大きなひろがりを見せています。

秩父郡市内では、すでに1市4町からとりくみに対する後援をもらっており、賛同団体も40団体を超えました。さらに、秩父札所連合会の協力をいただき、何と！札所にもシトラスリボンを置いてもらえることになりました。

リボンを持って協力をお願いに回ると、すぐに商店の店頭に置いてくれたり、団体内での配布を約束してくれたりと、快く引き受けていただけることが多く、こちらの心も温かくなります。



私たちが、人間同士で傷つけあうことなくコロナと闘うために、誰にでもできる小さなアピールです。この小さなリボンが優しさと理解をはぐくむシンボルになってくれたらと願います。

是非、服やかばんなどの持ち物にリボンをつけて…このとりくみをさらに大きく広げていきましょう。

ただいま、おかえりって言いあえるまでに

みんなで広げる、シトラスリボンプロジェクト。

(事務長：宇田川 麗)



生協病院受付カウンターのシトラスリボン。自由に持ち帰れます。

シリーズ札所めぐり①『札所1番 四萬部寺』

新入職員の研修の一環として、秩父生協病院近隣の札所を案内してもらいました。
今月から3回シリーズで、参加した職員の感想をご紹介します。

はじめまして。昨年4月に入職した理学療法士の福田と申します。秩父生協病院配属と同時に秩父に引越してきて10ヶ月。少しずつ仕事を覚えてきて、患者様が元気に生活できるよう、日々リハビリを行っています。

秩父の自然や歴史、どのようなところで皆様が生活されているかを学ぶため、1月20日に新人3名で秩父札所34箇所のうちの一部を、ガイドの方に案内していただき、訪れることができました。

今回ご紹介するのは1番の誦経山四萬部寺です。

こちらのお寺は本堂に上がることができます。(写真撮影は禁止)

本堂に入っていくと、左の奥に「おたすけ観音様」が安置されています。あらゆる悩み、あらゆる苦しみをおたすけくださるとして、大勢の人々に信仰されているそうです。また、左手前には「おびんするさん」もおられ、撫でた箇所が良くなる不思議な力があるとしてこちらも多くの方が参拝されるそうです。コロナ禍のため自粛しましたが、コロナが落ち着いた際には、ぜひ頭をなでに行きたいです。

堂内にも、境内にも、観音様、お釈迦様を始めとした像だったり絵だったりがたくさん…ガイドの方から、それぞれのいわれや歴史、エピソードなど丁寧に紹介していただきました。

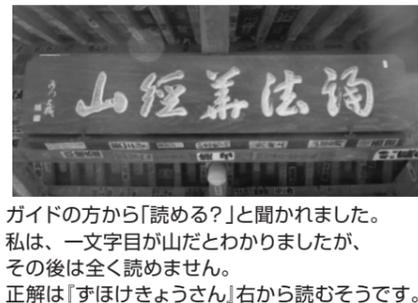
想像以上に盛りだくさんな内容でしたが、とても面白かったです。(理学療法士：福田 優太)

①入り口



蝋燭や線香をたてる際には、次の人のことを考えて、中央から灯すそうです。思いやりですね。

②門



ガイドの方から「読める?」と聞かれました。私は、一文字目が山だとわかりましたが、その後は全く読めません。正解は「すほけきょうさん」右から読むそうです。

③本堂



院内探検 ちょこっとDIY①『ゴーグルかけ』

新型コロナウイルス感染拡大にともない、より厳しい感染対策が求められるようになり、職員は現場に入る際にはゴーグルやフェイスシールドなどの目を保護する器具も装着しています。

ゴーグルは、マスクや手袋と違って使い捨てではないものもあります。

消毒をしながら何回か使用するのですが、個人持ちとなるので一人ひとり専用の保管場所が必要になります。

病棟の限られたスペースの中で、多くの職員のゴーグルが安全・清潔に保管できるようにぴったりのサイズの収納棚は見つからず、日曜大工が得意な職員に依頼して手作りしてもらいました。省スペースで分かりやすいゴーグルかけです。



～おいしく減塩すこしおレシピ～

カリウムたっぷりブロッコリーのポテトグラタン

材料 (3～4人分)

じゃがいも 200g、たまねぎ 120g、
ベーコン 24g、ブロッコリー 150g、
とろけるチーズ 1人20g
バター 10g、牛乳 400ml
A: コンソメ 1個、塩・こしょう少々
※お好みでマカロニをゆでて足してもよい。



作り方

- ①じゃがいもをすりおろす。または電子レンジで加熱し、つぶしておく。
 - ②タマネギはみじん切りに、ベーコンは短冊状に切る。
 - ③ブロッコリーは一口程度の大きさにして電子レンジで加熱する。(500W2～3分) 硬さを見て調整してください。
 - ④フライパンにバターを入れて熱し、ジャガイモとタマネギを炒める。
 - ⑤タマネギに火が通ったら、ベーコンと牛乳、Aを入れて弱火で混ぜながら煮詰める。
 - ⑥煮詰まったら火をとめる。
 - ⑦耐熱容器にブロッコリーを入れ、その上に⑤のソースをかけ、チーズをのせトースターで加熱し完成(6分程度)。
- ※トースターは家庭により電圧が異なるため、チーズが溶けて軽く焦げ目がつけば完成です。
※カリウムは水に溶けやすい性質があるため、野菜をゆでずに電子レンジで加熱します。

おなじみの味噌ポテトの塩分って?

1本約1g。
つける味噌の量によっても異なります。
普段どれくらい味噌をつけますか。
じゃがいもの味がわからなくなるほど味噌をたっぷりつけていませんか?
味噌の量を半分にする事で塩分を半分に抑えることができます。



味噌少なめ

味噌たっぷり

職員活動紹介⑤ 排泄チーム

3階療養病棟には、食事は経管栄養や中心静脈栄養、排泄については、膀胱カテーテルによる常時排尿管理の方、おむつ着用で介助者を必要とする方などが入院されています。

自力歩行が困難で、ベッド上での生活となっている方も多く、そのような患者様へ少しでも生活の質の向上につながるケアを提供するために『起こそうチーム』『パタカラチーム』『排泄チーム』と、3つチームを作りとりくみを進めています。

今回紹介するのは、排泄チームのとりくみです。

排泄ケアは、生活していく上で最も重要なケアの一つで、生協が大切にしている『①尊厳を守る②自立支援をする③在宅支援をする』の三つの事柄の全てに関わってきます。

排泄チームでは“尊厳を守るケア”を目標に活動を進め、今年度から排尿自立支援のとりくみを進めてきました。これは、膀胱カテーテルを使用されている方に対して、医師・看護師・理学療法士・介護福祉士が協議し、対象となる方のカテーテルをはずして、リハビリや評価を実施し、自尿を支援する取り組みです。対象となる方も、リハビリを行った上で、1～2時間おきに排尿量のチェックを受けるなど、大変な努力をされています。

とりくみを開始して以降、3名の方がカテーテルを外して排尿を行うことに成功しており、2名の方が支援継続中です。

リハビリも含めて簡単なとりくみではないので、患者様にとっても介護者にとっても「現状維持の方が楽」と諦めの考えが浮かぶかもしれませんが、“そのまましておかない粘り強いケア”を意識し、長期にわたる膀胱カテーテルの使用や、一日中オムツ着用のままにいる方について、諦めずにチームで問題意識を持ち、改善に繋げていっています。

毎月行っている排泄チームの会議で、“患者様を中心にしたケアができてきているのか?” “おむつを着用している方の気持ちを考えたケアであるか?” という問題が提起され、療養棟の全スタッフがおむつを着用し排尿をする取り組みを行うことになりました。

半数以上のスタッフがおむつでの排泄を体験しましたが、どうしても実施できなかったスタッフもいました。「排尿はしづらいし、不快感が強くて我慢できずに、決められた時間前におむつを外してしまっただ。」などの感想が出されています。

排泄が人としての尊厳や生活の質に、どれだけ深く関わっているか、体験的に考えられるよい機会となりました。療養棟全体でこの結果をふりかえり、さらに一層、患者様の気持ちに寄り添った排泄ケアを考えていきたいと思えます。(排泄チーム：堀内 進)

